

有栖川宮記念公園池の生物調査について



池のしゅんせつ工事に伴い、1月20日、2月4日の2日間にわたり、生物調査が行われました。たくさんのボランティア、学生さんなどの協力で32種類、総数約5000匹の生き物が捕獲されました。ご協力ありがとうございました。



生物調査のボランティア

有栖川宮記念公園 水生生物調査採取成果

分類	種名	夏調査			冬調査			
		9/16	1/20	2/4	9/16	1/20	2/4	
魚類	コイ	多数	15	174	アカミミガメ *	多数	25	43
	ニシキゴイ		4		クサガメ	1	6	16
	ゲンゴロウブナ		44	181	ミスジドロガメ *		1	
	キンギョ	1	2	2	オオアタマヒメニオイガメ *			1
	モツゴ	23	275	645	イシガメ			1
	クロダハゼ	16	157	85	スッポン	1	1	1
	ウグイ			15	ウシガエル(幼生) *	4	3	2
	ウナギ			1	スジエビ	5	194	487
	ドジョウ			1	テナガエビ		6	27
	メダカ	21			ヌマエビ	2	4	3
	ブルーギル *	74	1472	1062	アメリカザリガニ *	96	3	2
	カダヤシ *	2	2		シオカラトンボ(幼虫)	10		
	タイリクバラタナゴ *		3	13	オオシオカラトンボ(幼虫)	3		
ライギョ *			1	コシアキトンボ(幼虫)	5	4	1	
ヨーロッパオオナマズ *			1	オオヤマトンボ(幼虫)			1	
外来種・飼育種				ヒメタニシ		28	3	
				タイワンシジミ	8			
				カワニナ	多数			

*: 池の生態系を考慮して、駆除、移動等の処置を行いました。



最もたくさん採取されたのは、外来種のブルーギルでした。しかし、在来種のモツゴやクロダハゼも予想以上に多く確認でき、さらに、これまで確認ができていなかった、ウグイ、ウナギとテナガエビが生息していることが分かりました。また、スッポンとオオヤマトンボの繁殖を予見させる幼体の確認ができたことは、大きな成果です。残念ながら、ペットの遺棄と考えられる個体も散見されました。生態系の保全のためにも、ペットは最後まで責任を持って飼育しましょう。

有栖川宮記念公園の生物調査(港区+ムページ)で、ナマズの調査でも報告していきます

R5年8月実施

問い合わせ 港区環境課 緑化推進班 03-3578-23

合計2600匹!

モニタリング調査ではブルーギル確認されず